



F Y 2 0 2 3

# Project PLATEAU取組方針

※進行中のプロジェクト内容を含みます。予定はすべて今後変更される可能性があります。

2023年3月10日 国土交通省都市局都市政策課  
デジタル社会における都市計画情報の高度化に向けた検討会(第5回)



Project PLATEAU

# FY2022の主な成果





## 今後の展開

—まちづくりのデジタル・インフラとして、

3D都市モデルの持続可能な整備・活用・オープンデータ化のエコシステム構築を実現

R4年度以降の中長期的展開と残された課題



### データ整備の効率化・高度化

- 地上測量等を利用した建物や道路等の詳細モデルのデータ仕様拡張・標準手法開発
- 多様なデータソースを活用した効率的な3D都市モデルの整備・更新スキームの確立
- モデル自動生成ツールの開発



### 先進的なユースケース開発による スマートシティの社会実装

- モビリティ、カーボンニュートラル、XRなど、スマートシティの社会実装に向けたユースケースの深堀・リーディングケースの創出
- 地方自治体等における防災、環境、まちづくり等の多様な分野のユースケースの社会実装
- オープンデータ化の推進による民間市場におけるビジネス創出



### データ・カバレッジの拡大

- 地域課題解決のための3D都市モデル整備・活用を進める地方自治体に対する財政支援
- リーガル面の課題整理
- 自治体向けデータ管理・運用システム“PLATEAU VIEW+α”の開発・実装
- 官民の人材育成に向けたプログラム開発

## FY2022 Project PLATEAU 主な成果

**57件**



**採択プロジェクト数**  
 データ整備8件/ユースケース41件/  
 カバレッジ拡大6件/マネジメント2件

**96団体**



**参加企業・団体**

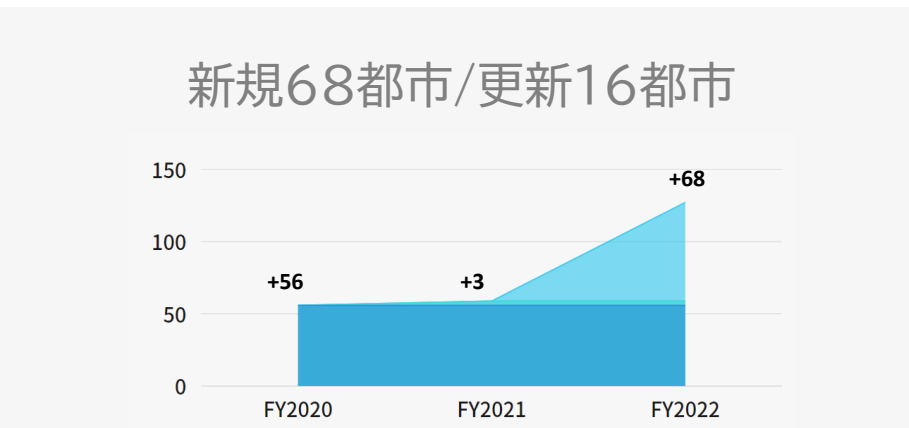
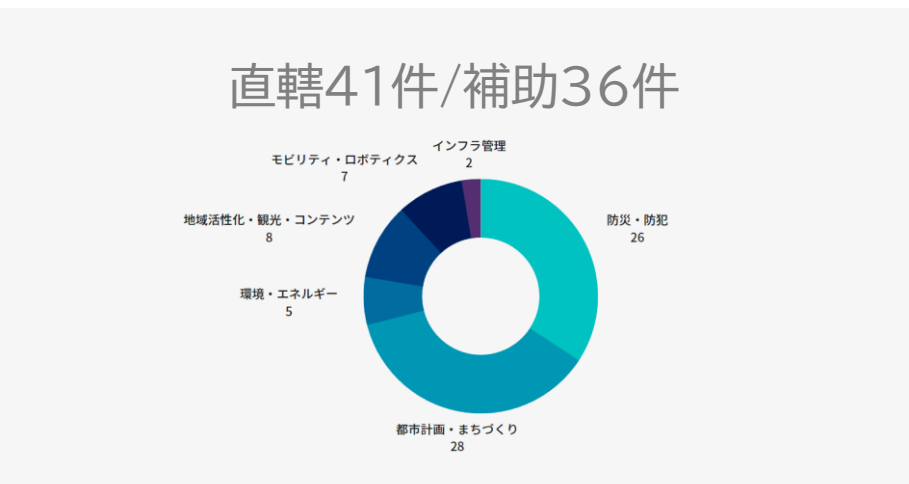
**12回**



**コミュニティ・イベント**  
 PLATEAU NEXT12回/  
 ドキュメント58本/OSS25件

**ユースケース  
開発  
77件**

**データ・  
カバレッジ  
127都市**



## 主なプロジェクト紹介

データ整備の高度化・効率化

### 「3D都市モデル標準製品仕様書 第3.0版」リリース

2021年度にリリースしたプラトー標準v2をベースとし、3D都市モデルの表現領域を拡張するための標準仕様改定を実施。

### 効率的なデータ更新スキームの開発

建築計画概要書や14条地図等の既存資料を利用した都市計画基本図及び都市計画基礎調査の短周期かつ効率的な更新手法を研究。

### LOD2自動生成ツールの開発

労働集約型の作業でコスト高の原因となるLOD2建築物モデルの自動生成ツールを、既存の海外製品に頼らないフルスクラッチで開発。OSSとすることで我が国全体の技術力向上を図る。

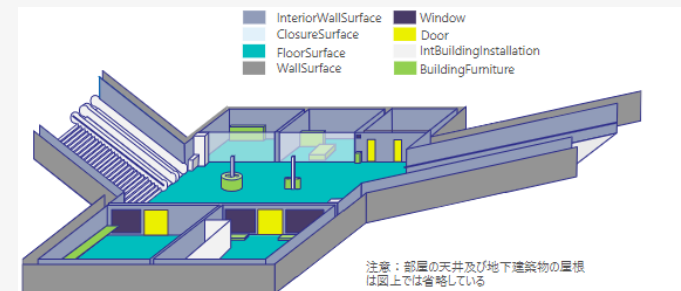
### 「空間ID」連携ツールの開発

デジタル庁が進める「空間ID」の取組みと連携し、3D都市モデルの空間IDへのメタデータ提供/空間IDの3D都市モデルへの付与を可能とするツールを開発。OSSとして提供。

## 標準データ モデルの拡張

更に様々な地物を  
プラトーで表現  
可能に

- LOD4建築物モデル(BIM連携屋内モデル)、地下街モデル、地下埋設物モデル、土木構造物モデル(橋梁、ペDESTリアンデッキ、トンネル、堤防等)、交通モデル(鉄道、航路、広場等)等の新たな地物をプラトー標準へ追加。
- 都市デジタルツインの表現力を高め、更に多様な分野での活用を可能に。

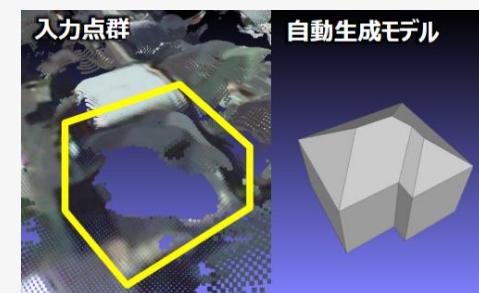


地下街モデル取得イメージ

- コストに課題のあるLOD2建築物モデル作成を自動化するためのツールを純国産のフルスクラッチで開発し、OSSとして公開。
- 一般的に取得可能な25cm解像度航空写真をインプットデータとし、モデリング、テクスチャ貼付け、CityGML出力までパッケージで処理可能。

## 自動生成技術 の開発

AIを利用した国  
産自動生成ツール  
を開発・公開



自動生成モデルのイメージ

## 主なプロジェクト紹介

### カバレッジ拡大

#### PLATEAUコミュニティの育成

プラトーのオープンデータとしての価値を高めていくため、ハッカソン、ハンズオン、LT、ピッチイベント、アプリコンテストなどを全国で実施。

#### 技術チュートリアルの開発

プラトーは我が国にはまだ馴染みのない技術領域であるため、ハンドリングのナレッジを広げていくため、GIS、ウェブ、ゲームエンジン等様々なツールで利用するためのチュートリアルを公開。

#### 地方自治体による社会実装の支援

2022年度からスタートした「都市空間情報デジタル基盤構築支援事業」では36の団体が参加。自治体がイニシアティブをもって3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化の社会実装を推進。

#### PLATEAU VIEW2.0/PLATEAU SDKの開発

従来、プラトーのデータはSE作業やGIS専門家の支援がなければ扱うのが難しかった。VIEW2.0やSDKはこれをノーコード化し、非専門家でも様々な領域でデータ活用を可能とする。

## PLATEAU コミュニティの 成熟

プロジェクト開始  
3年を経て、全国  
で技術者コミュニ  
ティが誕生

- 様々な企業、大学、技術者、地域コミュニティなどでプラトーのオープンデータを活用し、イノベーションを創出していくことを目指し、全国で12回のイベントを実施。
- 2月に開催された初の「PLATEAU AWARD」では多種多様なアプリ、システム、プロダクトが発表され、コミュニティの成熟が示された。

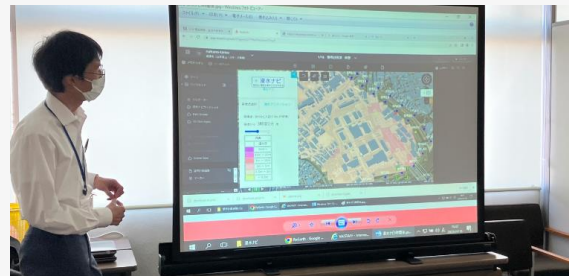


PLATEAU STARTUP Pitchの様子

## PLATEAUを 利用しやすい 環境の構築

自治体職員や技  
術者が使いやすい  
プラトーを目指す

- プラトーを活用したいがシステム構築費用やデジタル知識がない、という多くの自治体の声を受け、ウェブ上でプラトーデータをノーコードで管理可能なPLATEAU VIEW2.0を開発。
- エンジニア向けにはゲームエンジン用SDKをOSSで提供。様々なメディアで取り上げられ、ユーザーのすそ野を拡大。



VIEW2.0ではノーコードで様々なデータを連携・可視化可能

### 3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化プロジェクト「PLATEAU」： 整備都市リスト

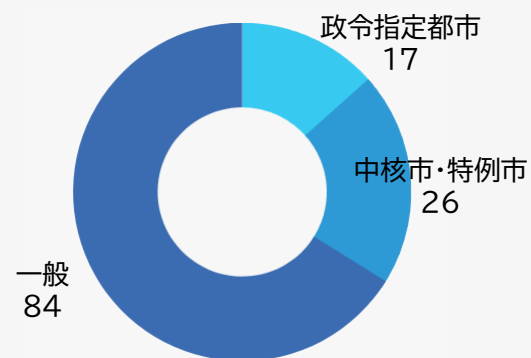
これまで約60都市で整備。令和4年度は約70都市（市町村）で新規整備予定。(計約130都市)

北海道	札幌市	東京都	東村山市	静岡県	富士市	愛知県	豊川市	広島県	三次市
北海道	室蘭市	神奈川県	横浜市	静岡県	磐田市	愛知県	日進市	香川県	高松市
北海道	更別村	神奈川県	川崎市	静岡県	焼津市	三重県	熊野市	愛媛県	松山市
青森県	むつ市	神奈川県	相模原市	静岡県	藤枝市	三重県	四日市市	福岡県	福岡市
岩手県	盛岡市	神奈川県	横須賀市	静岡県	御殿場市	京都府	京都市	福岡県	うきは市
宮城県	仙台市	神奈川県	箱根町	静岡県	袋井市	大阪府	大阪市	福岡県	北九州市
福島県	郡山市	新潟県	新潟市	静岡県	下田市	大阪府	豊中市	福岡県	久留米市
福島県	いわき市	石川県	金沢市	静岡県	裾野市	大阪府	池田市	福岡県	飯塚市
福島県	南相馬市	石川県	金沢市	静岡県	湖西市	大阪府	高槻市	福岡県	宗像市
福島県	白河市	石川県	加賀市	静岡県	伊豆市	大阪府	摂津市	佐賀県	武雄市
茨城県	つくば市	山梨県	甲府市	静岡県	御前崎市	大阪府	忠岡町	佐賀県	小城市
茨城県	鉾田市	長野県	松本市	静岡県	伊豆の国市	大阪府	河内長野市	佐賀県	大町町
栃木県	宇都宮市	長野県	岡谷市	静岡県	牧之原市	大阪府	堺市	佐賀県	江北町
群馬県	桐生市	長野県	伊那市	静岡県	東伊豆町	大阪府	柏原市	佐賀県	白石町
群馬県	館林市	長野県	茅野市	静岡県	河津町	兵庫県	加古川市	長崎県	佐世保市
埼玉県	さいたま市	長野県	佐久市	静岡県	南伊豆町	兵庫県	朝来市	熊本県	熊本市
埼玉県	熊谷市	岐阜県	岐阜市	静岡県	函南町	奈良県	奈良市	熊本県	荒尾市
埼玉県	新座市	岐阜県	美濃加茂市	静岡県	清水町	和歌山県	和歌山市	熊本県	玉名市
埼玉県	毛呂山町	静岡県	静岡市	静岡県	長泉町	和歌山県	田辺市	熊本県	益城町
埼玉県	蓮田市	静岡県	沼津市	静岡県	小山町	和歌山県	太地町	大分県	日田市
埼玉県	戸田市	静岡県	掛川市	静岡県	吉田町	鳥取県	鳥取市	宮崎県	延岡市
千葉県	柏市	静岡県	菊川市	静岡県	森町	鳥取県	境港市	沖縄県	那覇市
千葉県	茂原市	静岡県	浜松市	愛知県	名古屋市	広島県	呉市		
千葉県	八千代市	静岡県	熱海市	愛知県	岡崎市	広島県	広島市		
東京都	東京23区	静岡県	三島市	愛知県	津島市	広島県	福山市		
東京都	八王子市	静岡県	富士宮市	愛知県	安城市	広島県	海田町		
東京都	西東京市	静岡県	伊東市	愛知県	春日井市	広島県	府中市		

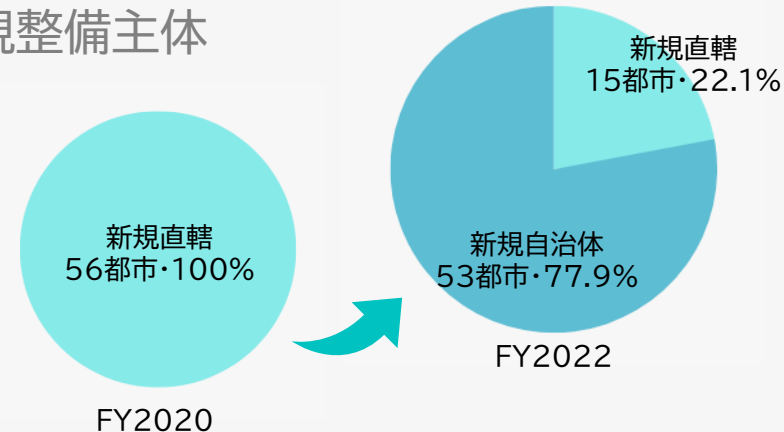
総整備面積



地方公共団体区分



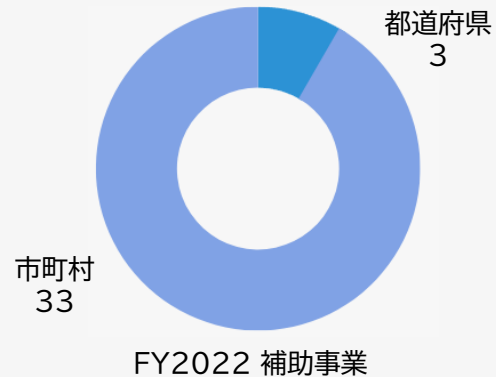
新規整備主体



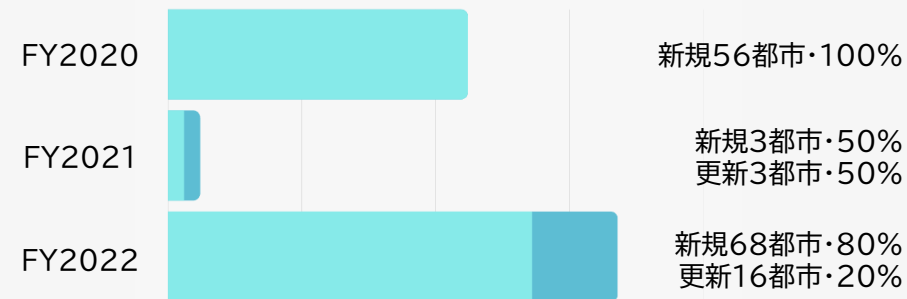
総整備建物棟数



都道府県/市町村の別



新規/更新割合





# PLATEAU AWARD 2022



Entry No.01  
すPLATEAU～ん  
すPLATEAU～ん



Entry No.02  
都市の分布を見る  
青藤 佑太郎



Entry No.03  
点群×PLATEAU  
Imgee株式会社



Entry No.10  
マルチプレイ対応VRAR運動アプリ  
「VARAEMON」  
きっぽじ@KITPOSITION



Entry No.11  
TOKYO 昭和97年  
株式会社CHAOSRU



Entry No.12  
Own東京  
小園 隼太郎



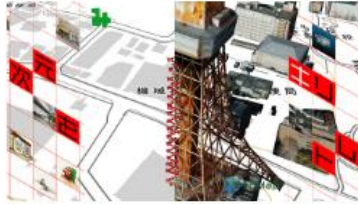
Entry No.04  
情報加算器  
HollowByte合同会社  
米田 将



Entry No.05  
Plateau Blender Importer  
園岡 海季



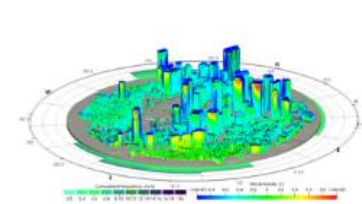
Entry No.06  
PLATEAU CityGML LOD1 を OpenStreetMap に  
インポートしてみた！  
YouthMappersAGU



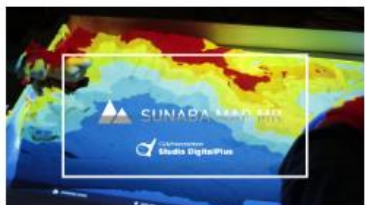
Entry No.13  
（おそらく）世界初の位置情報と連携した3Dキ  
ャプチャー作品コンテスト みんキャブ  
みんキャブ運営委員会



Entry No.14  
PLATEAUで日本全国の自動運転シミュレーショ  
ンを可能にする  
株式会社ティアフォー



Entry No.15  
都市環境を対象としたクラウド解析ツール群  
『PLATEAU Tools』  
株式会社大林組  
上田 博嗣



Entry No.07  
SUNABA MAP MR  
株式会社スタジオ・デジタルプラス



Entry No.08  
snow city  
シマエナガ



Entry No.09  
PLATONE プラトーン  
ORSHOLITS Alex



Entry No.16  
キッズ向けさがいMAP  
東北工業大学  
小野 将介



Entry No.17  
PLATEAU Window  
PLATEAU Window's



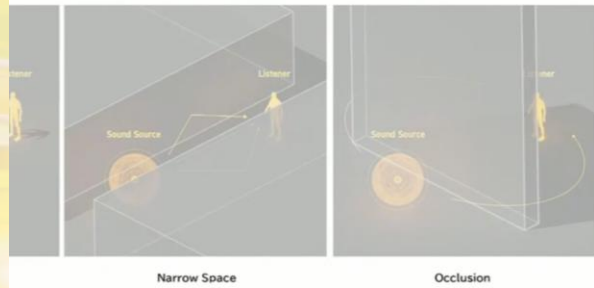
# PLATEAU AWARD 2022



## PLATEAU AWARD 2022

物理環境3Dデータの必要性  
Idea | Why Plateau | System Development | Use Case

The actual physical environment is critical for creating an immersive experience. 3D data matching is essential for achieving immersion.



#PLATEAUAWARD

## PLATEAU AWARD 2022

A presentation slide for "PLATEAU Tools" featuring various 3D city models and data visualizations. The slide includes the following text: "風環境/風圧感度", "形状加工/LOD/属性", "AI", "形状", "眺望", "太陽", "日射軌跡", "日射反射", and "日射受熱".



#PLATEAUAWARD



# PLATEAU Hack Challenge

PLATEAU Hack Challengeは、オープンデータである3D都市モデルのポテンシャルを引き出すため、国土交通省が主催するハッカソンイベントです。

2022年度は、ヒーローズ・リーグ(一般社団法人MA)とコラボしたハッカソンと、各地域の開発コミュニティと連携した地域版ハッカソンを全4回開催しました。

唯一のテーマは「PLATEAUの3D都市モデルの活用」です。エンジニア、デザイナー、プランナー、マーケターなどが即席チームを作り、それぞれの技術やアイデアを持ち寄り、2日間で集中して新しい商品・サービス・システム・アプリケーションなどを開発し、成果を競います。

主催：国土交通省

運営：角川アスキー総合研究所

協力：一般社団法人MA、デジタルハリウッド大学、パノラマティクス、HMCN、仙台市、東北大学災害科学国際研究所、みちのく震緑伝、enspace、Fw:東北 Fan Meeting、エイチタス株式会社、ユニティ・テクノロジーズ・ジャパン株式会社、福岡市、Engineer Café、AR Fukuoka、九州先端科学技術研究所、パノラマティクス、HMCN、広島県、呉市、

参加：85人(全4回)

2022.8.27 Sat. - 28 Sun.

## PLATEAU Hack Challenge 2022 in ヒーローズ・リーグ

ハッカソンイベント第一弾はヒーローズ・リーグとのコラボで開催します。

VIDEO ARCHIVE

REPORT

2022.9.17 Sat. - 18 Sun.

## PLATEAU Hack Challenge 2022 in Engineer Cafe (福岡)

ハッカソンイベント第二弾は「九州・福岡」のエンジニアコミュニティとコラボして開催します。

VIDEO ARCHIVE

REPORT

2022.11.5 Sat. - 6 Sun.

## PLATEAU Hack Challenge 2022 in 大和ミュージアム (呉)

ハッカソンイベント第三弾は「広島・呉」のエンジニアコミュニティとコラボして開催します。

VIDEO ARCHIVE

REPORT

2022.11.12 Sat. - 13 Sun.

## PLATEAU Hack Challenge 2022 in enspace (仙台)

ハッカソンイベント第四弾は「東北・仙台」のエンジニアコミュニティとコラボして開催します。

VIDEO ARCHIVE

REPORT



# PLATEAU Hack Challenge 2022



# PLATEAU LT

PLATEAU LTでは、全3回のLT(ライトニングトーク:短時間に集約して簡潔にプレゼンする形式)を通してそれぞれのプロダクトをシェアし、技術ナレッジの交換やブレインストーミングに役立てます。

主催:国土交通省

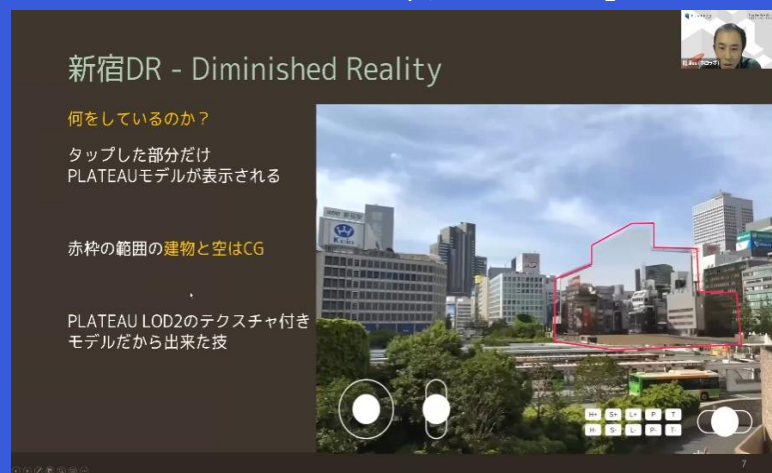
運営:角川アスキー総合研究所

協力:HMCN(Hiroshima MotionControl Network)

発表:38作品

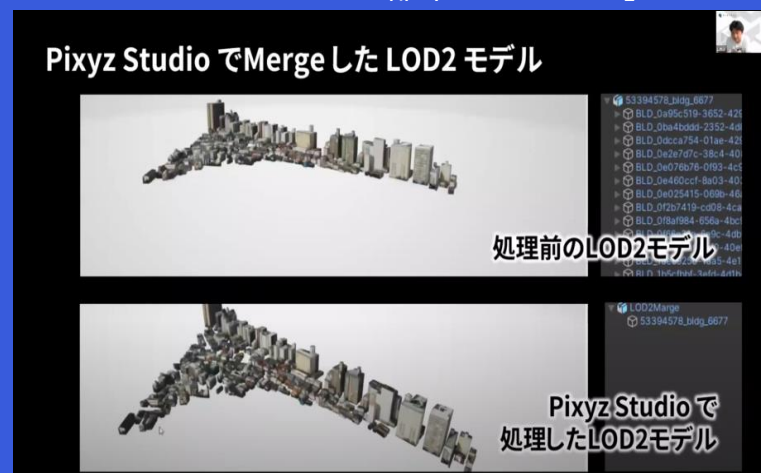
視聴:1,262人

## PLATEAU LT01「私とPLATEAU」



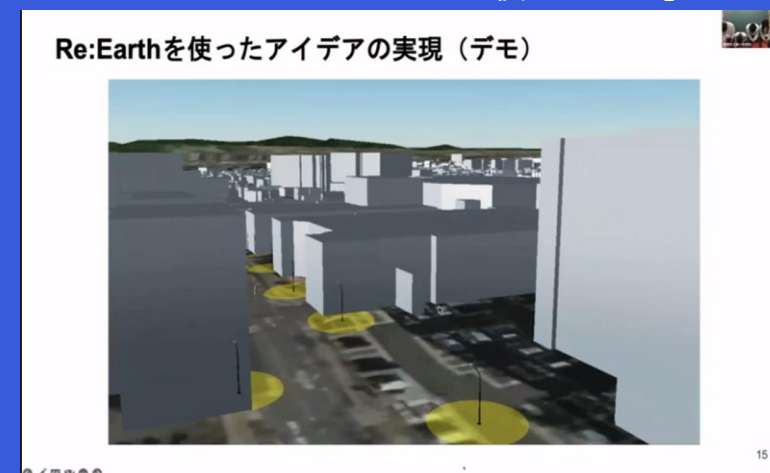
【龍 ilea】新宿ビル群を消すAR (Diminished Reality)

## PLATEAU LT02「都市とPLATEAU」



【しのぶ】今さら聞けない PLATEAUを楽しむための Unity のいろは

## PLATEAU LT03「PLATEAU使ってみた」



【摂津市立第一中学校】3D都市モデルを使った授業をやってみた

🔗 レポートはPLATEAU> Journal

<https://www.mlit.go.jp/plateau/tag/lt-2022/>



# PLATEAU Hands-on

PLATEAU Hands-onは、PLATEAUでどんなことができるのかヒントをつかんでいただくために、サンプルを講師と一緒に作れるオンラインでのハンズオンワークショップです。

PLATEAU Hands-on 01 | 2022.8.5 Fri.

## PLATEAUを用いたVR空間の作り方

ハンズオン第一弾はUnity等を用いたVR空間の構築方法を参加型ワークショップでレクチャーします。

PLATEAU Hands-on 02 | 2022.9.2 Fri.

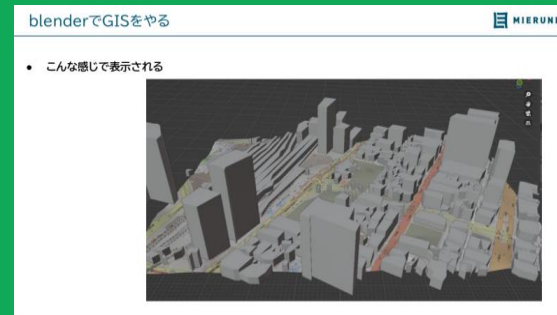
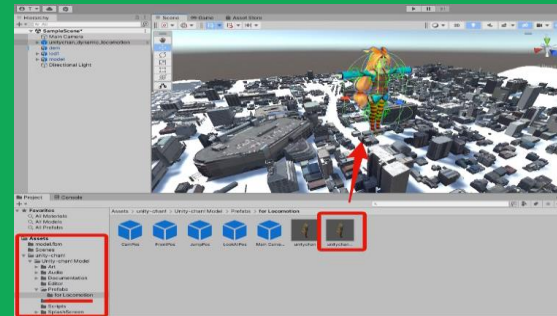
## PLATEAUで理解するGISでの3Dビジュアライゼーション

ハンズオン第二弾はCesiumJSなどのWebGISを用いたPLATEAUのデータの扱い方を学ぶ初級～中級者向けの内容です。※第一弾と同様の内容のハンズオンもあわせて実施します。

PLATEAU Hands-on 03 | 2022.10.7 Fri.

## PLATEAU VRアプリ開発とBlenderでの3D都市モデル活用法

ハンズオン第三弾はPLATEAUのデータをMeta Quest 2などのVRデバイスで体験するアプリ開発（中級者向け）と、PLATEAUのデータを利用してBlenderの操作レクチャー（初級～中級者向け）を実施します。※第一弾、第二弾で実施した「VR空間の作り方」のハンズオンもあわせて実施します。



主催：国土交通省  
運営：角川アスキー総合研究所  
協力：株式会社アナザーブレイン、ユニティ・テクノロジーズ・ジャパン株式会社、株式会社MIERUNE、HMCN  
講師：久田 智之／株式会社アナザーブレイン、山本 裕規 & 武村 達也／HMCN、高橋 忍／ユニティ・テクノロジーズ・ジャパン株式会社、西尾 悟／株式会社MIERUNE  
参加：419人(全6回)



# PLATEAU STARTUP Pitch

PLATEAU STARTUP Pitchは、ビジネスの領域で3D都市モデルを活用し、新たなサービスやプロダクトを生み出すためのビジネスアイデアのコンテストです。

主催：国土交通省

運営：角川アスキー総合研究所

協力：HMCN(Hiroshima MotionControl Network)

会場：CIC TOKYO

協賛：SOLIZE株式会社、株式会社PR TIMES、電通glue sprint for CVC

審査員：国交省 内山氏、株式会社ANOBKA 長野氏、  
凸版印刷株式会社 名塚氏、SymmetryDimensions Inc. 清水氏

参加：251人

スタートアップ9社が登壇・4社が展示参加/会場約80名・オンライン約200名

グランプリ ローカスブルー株式会社



# TOPIC 7 | TerriaJSで活用する [2/2] | TerriaJSで3D都市モデルを活用する

TerriaJSを使うと、簡単なコードを書くだけで、Cesiumに付随してPLATEAUの3D都市モデルを表示するほか、地形の設定、その

Share Twitter Facebook LINE

## TOPIC 7



# TerriaJSで活用する [2/2]

Cesiumの基礎を体験する

Cesiumで活用する CesiumJS

2023.1.27

tpc06-1

TerriaJSで3D都市モデルを活用する

TerriaJSで活用する TerriaJS

2023.1.13

### 8.3 別のデータを重ねる

同じ平面直角座標系であれば、同様の方法でインポートすると、それらはピッタリ重なります。

例えば、隣接する代々木周辺の3次メッシュ「53394515」（53394515）を追加すれば、図 8-16のように、その横に表示されます。

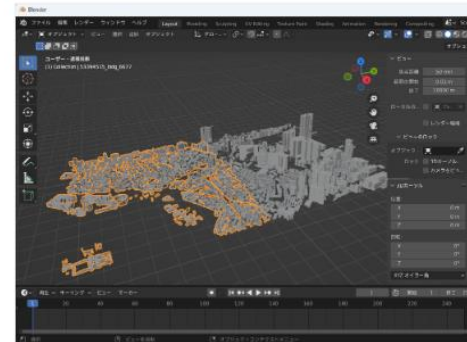
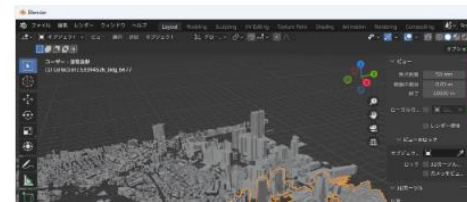


図 8-16 隣接地域にLOD1をさらに追加したところ

もちろん、LOD1とLOD2とを重ねて表示することもできます。同じく別の3次メッシュ「53394526」のLOD2モデルを追加した例を図 8-17に示します。



### 実証事例 01. 茅野市

より良い土地開発のために、申請フローを最適化実験の概要

人・モノ・データ	PLATEAU、都市計画、災害リスク、さまざまな行政情報
アイデア	3D都市モデルに行政情報を集約し、土地開発の申請システムに利用
短期的な目的	開発事業者の申請を軽くなる / 承認者の事務作業を軽くなる
中期的な目的	適切な土地利用を進める
長期的な目的	開発制度そのものの最適化

茅野市では、土地開発の申請・許可に関わる手続きが煩雑で、人的・時間的なコストを多く必要とするという問題を抱えていました。

#### 3D都市モデル上に集約されたデータベース

PLATEAUの3D都市モデルは、さまざまな空間情報を統合するフォーマットとして機能します。そこで、土地開発の申請をする際に開発事業者・行政が必要とするデータをここに集約しました。これまでは、「その開発が適正かどうか」を判断するために個別の資料を調査する必要がありましたが、3D都市モデル上に集約されたことで、申請時に必要な情報収集が効率化されたのです。



## Technical Reports

🔍 Category **ALL** Field **Not selected** Tag **Not selected** 4 articles

- 

2022.3.29 — Data  
**3D都市モデルLOD3データ作成実証レポート**  
 3D都市モデルLOD3のデータ作成実証の技術資料 (2021年度)  
 データ作成 デジタルツイン CityGML
- 

2022.3.29 — Use Case  
**3D都市モデルを活用したエリアマネジメント活動可視化技術検証レポート**  
 エリアマネジメント活動可視化システム開発実証の技術資料 (2021年度)  
 都市計画 まちづくり エリアマネジメント ダッシュボード Three.js
- 

2022.3.29 — Use Case  
**3D都市モデルを活用した太陽光発電施設設置シミュレーション技術検証レポート**  
 太陽光パネル設置シミュレータ開発実証の技術資料 (2021年度)  
 発電 エネルギー ArcGIS シミュレーション
- 

2022.3.29 — Use Case  
**3D都市モデルを活用した自動運転車両の自己位置推定技術検証レポート**  
 自動運転車両の自己位置推定システム開発実証の技術資料 (2021年度)

**3D都市モデルの導入ガイド**  
 Guidance on the Installation for 3D City Model  
 地方自治体担当者や民間事業者等に向けた3D都市モデル導入のためのガイド

第2.0版

Publication Date: 2022.6.2  
 Download: 25.8MB

PDF 

**3D都市モデル標準作業手順書**  
 Standard Implementation Procedures for 3D City Model  
 国際標準規格であるCityGMLによる3D都市モデル整備のための標準作業手順

第2.2版


Publication Date: 2022.9.30  
 Download: 4.2MB

PDF 

**(別冊) 3D都市モデルとの連携のためのBIMモデルIDM・MVD**  
 情報連携マニュアル (IDM) ・モデルビュー定義 (MVD)

開発者向けソースコード

PLATEAU GitHub 

PLATEAU Youtube Channel 

Overview Repositories 16 Projects Packages

**Project PLATEAU**  
 Project-PLATEAU

Follow

PLATEAU は、国土交通省が進める3D都市モデル整備のリーディングプロジェクト。本アカウントの運用方針については、Project PLATEAU公式GitHubアカウント運用ポリシーを参照してください。  
<https://www.mlit.go.jp/plateau/site-policy/>

291 followers · 1 following

MLIT Japan  
<https://www.mlit.go.jp/plateau/>  
 @ProjectPlateau

Achievements

Popular repositories

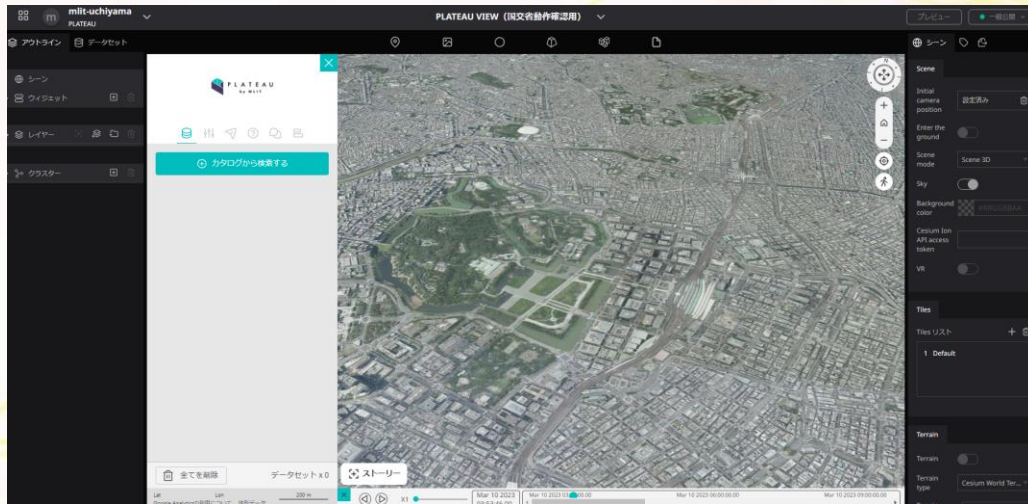
- Data-Conversion-Manual-for-3D-City-Model** (Public)  
 CityGMLデータからFBX/OBJ/Datasmith/IFCへのフォーマット変換 (FME Desktop)  
 ☆ 39 🍴 5
- PLATEAU-VIEW** (Public)  
 Forked from TerriaJS/TerriaMap  
 Catalog-based web geospatial visualisation platform.  
 HTML ☆ 37 🍴 7
- plateau-streaming-tutorial** (Public)  
 PLATEAU配信サービス利用のためのチュートリアル  
 ☆ 28 🍴 2
- CityGML-geometry-validator** (Public)  
 FME Workspaces for CityGML geometry validator  
 ☆ 3
- AMCI-Sample** (Public)  
 JavaScript ☆ 3
- terriajs** (Public)  
 Forked from TerriaJS/terriajs  
 A library for building rich, web-based geospatial data platforms.  
 TypeScript ☆ 3 🍴 1

42 contributions in the last year

We're celebrating 100 million developers! [Read our blog post.](#) [▶ Play animation](#)

lay Jun Jul Aug Sep Oct Nov Dec Jan





# PLATEAU VIEW2.0

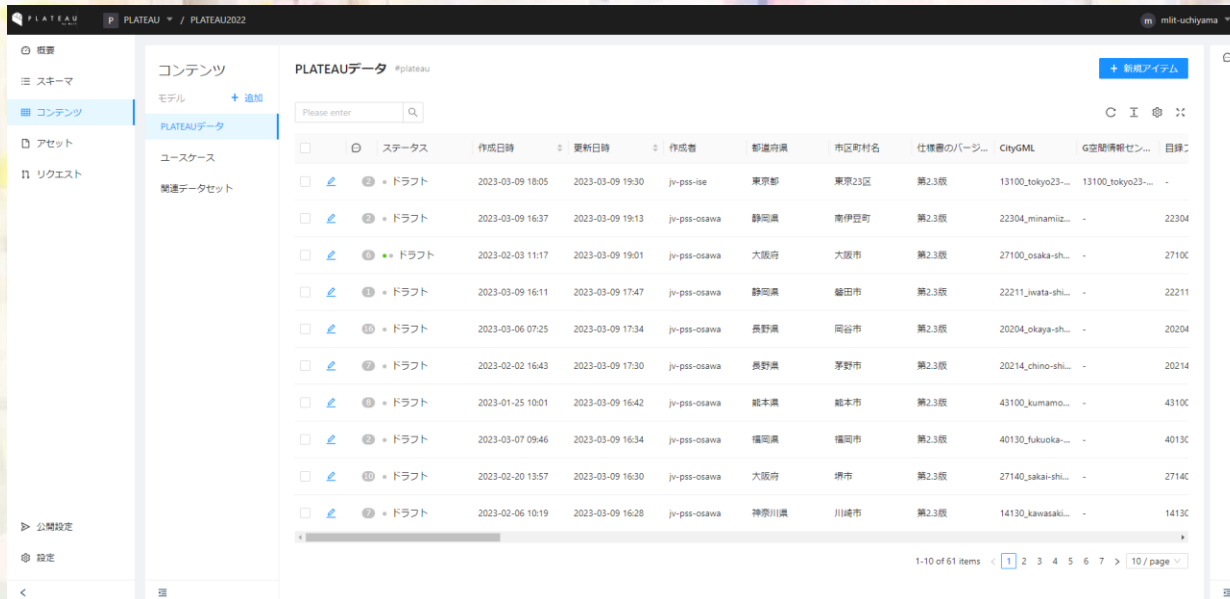
PLATEAU VIEW2.0は、データ可視化のためのVIEW、VIEW管理のためのEditor、データ管理のためのCMSの3つのサブシステムから成り立つウェブGISです。

ノーコードで以下の機能を提供します。

- ①3D都市モデルのアップロード、編集、品質検査、変換等のデータ管理(CMS)
- ②ビューアのGUI設定や解析機能の導入(Editor)
- ③独自ドメインによるパブリッシュ又は庁内利用(VIEW)

これらの機能により、自治体職員等はウェブ上の操作のみでプラトーのデータを管理し、住民向けウェブGISとして公開したり、庁内検討用の資料として活用したりすることができます。

**PLATEAU VIEW2.0は2023年度から自治体向け実証運用を開始予定です。**



# PLATEAU SDK for Unity/Unreal

『PLATEAU SDK for Unity/Unreal』は、Unity及びUnreal Engine5内でPLATEAUの3D都市モデルを使用するためのオープンソースツールキットとして、国土交通省が開発したソフトウェアです。

『PLATEAU SDK』を使用することで、PLATEAUの豊富な3D都市モデルデータをゲームエンジンプロジェクトへインポートすることができ、現実世界のアプリケーションや都市シミュレーションを簡単に開発できます。

正式版となるver1.0.0は2023年2月28日にリリースされ、多くのメディアやSNSで取り上げられるなど反響を呼びました。





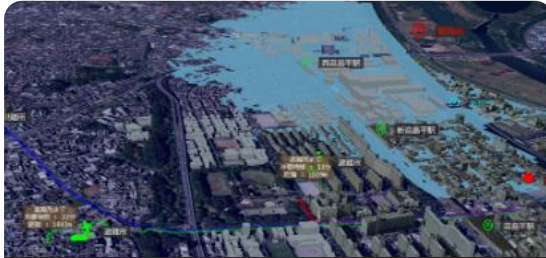
# 主なプロジェクト紹介

## ユースケース開発



### まちづくり

都市開発や都市計画、エリマネのプランニングやシミュレーション、合意形成、まちづくりアプリなどに活用



### 防災・防犯

災害リスクの可視化、災害シミュレーション、防災計画の立案、避難経路アプリ、防災ワークショップなどに活用



### 地域活性化・観光

メタバース空間の作成、XR観光コンテンツの作成、観光ガイドアプリ、広告効果シミュレーションなどに活用



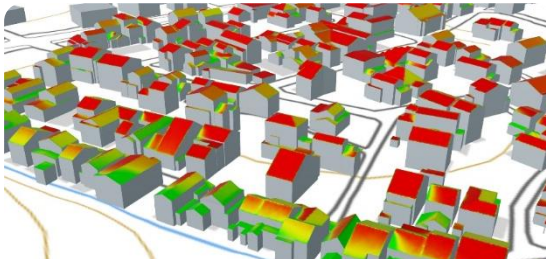
### モビリティ・ロボティクス

自動運転車両や自律飛行ドローンのマップ、オペレーションシステム、最適ルート探索などに活用



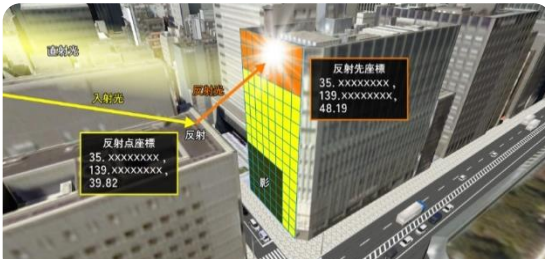
### 市民参加・教育

市民参加型のまちづくりや地域活動を支援するXRツールやダッシュボード、まちづくり体験アプリなどに活用



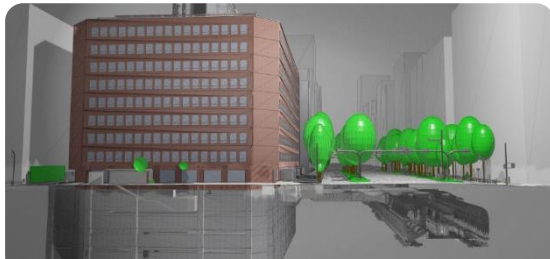
### 環境・エネルギー

太陽光発電やヒートアイランド、通風などのシミュレーション、エリアのエネルギーマネジメントなどに活用



### インフラ管理

建築物や公園などのインフラ管理ツールや老朽化予測シミュレーション、IoTデータ管理などに活用



### デジタルツイン技術

点群等のセンシングデータのセグメンテーション、モデリング技術やBIM等との統合技術の開発



<https://www.mlit.go.jp/plateau/>



UC\_ID: 3-023  
都市OSと連携した都市政策シミュレーション  
実施事業者: 日本電産株式会社、パシフィックコンサルタンツ株式会社、株式会社E&K  
実施場所: 東京都武蔵野市



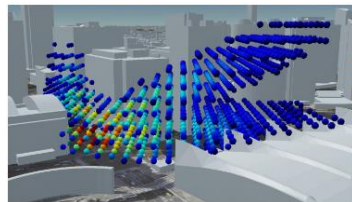
UC\_ID: 3-022  
ワークパルな空間設計のためのスマート・プランニング  
実施事業者: パシフィックコンサルタンツ株式会社、株式会社フォーラムエイト  
実施場所: 東京都豊島区



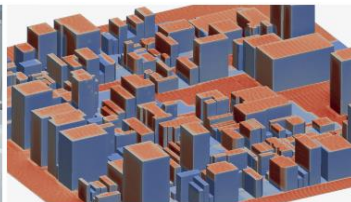
UC\_ID: 2-009  
ARを活用した実空間可視化ツール  
実施事業者: 株式会社山本コンサルタンツ  
実施場所: 東京都豊島区、台東区、目黒区、品川区



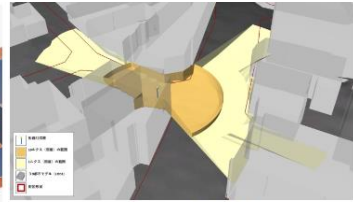
UC\_ID: 2-008  
地域防災支援プラグイン  
実施事業者: エス・アール・アイサードアソシエイツ株式会社、株式会社Eukarya  
実施場所: 東京都豊島区



UC\_ID: 3-021  
ローカル5Gネットワークシミュレーションを活かした基地局配置計画  
実施事業者: アルテアエンジニアリング株式会社、一般社団法人建設メカニクスGAVI  
実施場所: 東京都あきるの市



UC\_ID: 3-020  
3D都市モデルを活用した気候変動影響シミュレーション  
実施事業者: アルテアエンジニアリング株式会社、東京大学  
実施場所: 東京都あきるの市、東京都西武町



UC\_ID: 2-007  
防犯設備設置計画支援ツール  
実施事業者: 株式会社バスコ、セコム株式会社、株式会社日経建設総合研究所  
実施場所: 東京都豊島区



UC\_ID: 2-006  
実況画像発生量シミュレーション  
実施事業者: パシフィックコンサルタンツ株式会社  
実施場所: 東京都豊島区



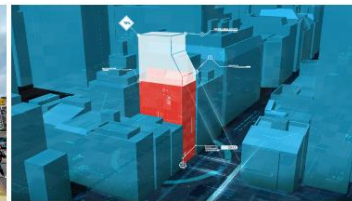
UC\_ID: 4-014  
ドローンによる建築物外観検査の支援  
実施事業者: 株式会社フォーラムエイト  
実施場所: 埼玉県さいたま市、埼玉県熊谷市、神奈川県横浜



UC\_ID: 4-013  
ドローン航路シミュレーション  
実施事業者: 株式会社トラジエクトリー  
実施場所: 東京都豊島区、東京都目黒区



UC\_ID: 4-012  
広告効果シミュレーションシステム  
実施事業者: Symmetry Dimensions Inc.  
実施場所: 東京都豊島区、東京都目黒区



UC\_ID: 4-011  
道路車流量シミュレータ  
実施事業者: 株式会社4Dセンター  
実施場所: 東京都豊島区、東京都目黒区、東京都目黒区、八丁地区

「PLATEAU Technical Reports」では、終了したユースケース開発の技術的なナレッジをまとめたドキュメントを公開しています。



**USECASE**  
3D都市モデルを活用した自動運転車両の自己位置推定技術検証レポート  
Technical Report for Autonomous Driving with 3D City Models  
自動運転車両の自己位置推定システム開発実証の技術資料 (2021年度)

⇒ PDF

Last updated: 29 March, 2022



**USECASE**  
3D都市モデルを活用した太陽光発電施設の設置シミュレーション技術検証レポート  
Technical Report for Solar Energy Analysis with 3D City Models  
太陽光パネル設置シミュレータ開発実証の技術資料 (2021年度)

⇒ PDF

Last updated: 29 March, 2022



**USECASE**  
3D都市モデルを活用したエリアマネジメント活動可視化技術検証レポート  
Technical Report for Visualization of Area Management with 3D City Models  
エリアマネジメント活動可視化システム開発実証の技術資料 (2021年度)

⇒ PDF



**DATA**  
3D都市モデルLOD3データ作成実証レポート  
Technical Report for Development of 3D City Models in LOD3  
3D都市モデルLOD3のデータ作成実証の技術資料 (2021年度)

⇒ PDF

Last updated: 29 March, 2022

Download: 21.8MB

<https://www.mlit.go.jp/plateau/libraries/>

# パートナーシップの拡大

## Project Partnersは100社以上に拡大

**Project Partners**  
プロジェクトパートナー

本プロジェクトは国土交通省をはじめ、幅広い分野の専門家たちがフラットかつ機動的に協業することで実現した。



**PLATEAU Project Partners**

<https://www.mlit.go.jp/plateau/about/>

**MLIT** Copyright © 2022 by MLIT. All rights reserved.



FY2023

# Project PLATEAUの取組み方針

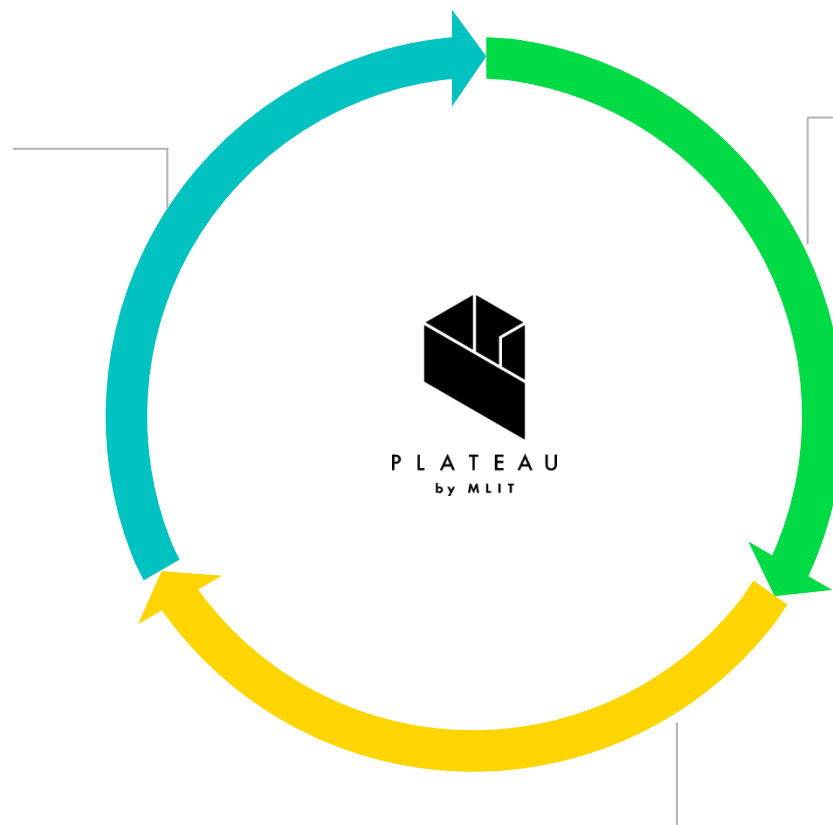


## PLATEAUの目指す3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化のエコシステム

FY2023のProject PLATEAUでは、国、地方自治体、民間企業、研究機関等の多様な主体が相互に連携し、3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化が自律的に発展するエコシステムの構築を目指します。

### 国による技術開発、ベスト・プラクティス創出、国際展開

- 国の取組みにより、民間利用の動向を踏まえたPLATEAU標準仕様の拡張・改良や、自治体による整備を促進するためのデータ整備手法効率化のための技術開発を進める。
- 民間領域の先進技術や新たなアイデアを取り込んだ3D都市モデルのユースケース開発を実施。フィジビリティスタディや有用性検証を行い、社会実装のためのベストプラクティスを創出する。
- PLATEAUの取組みによって蓄積された我が国のCityGML標準、3D、GIS、XR、ウェブ開発などの先進的な技術を活用し、国際展開を図る。



### 地域の社会実装

- 国が開発したナレッジを利用して地方自治体が3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化を実施し、データ・カバレッジの拡大やユースケースの社会実装を推進。
- 国は地方自治体の取組みを支援するため、財政的及び技術的支援や、ニーズ・シーズマッチング機会の提供、ノウハウやナレッジの共有等を進める。

### オープン・イノベーションの創出

- 地方自治体等がオープンデータとして提供する3D都市モデルのデータや、国が公開するユースケース開発のナレッジが活用され、新たなイノベーションが創出されるための環境を整備する。
- 開発者がデータを利用しやすい環境を作るため、技術資料の整備、開発者向けツールの開発、コミュニティ構築等を実施。



# NEXT PLATEAU's Concept

## 実証から実装へ

2023年度にプロジェクト開始から4年目を迎えるPLATEAUは、これまでの「PLATEAUのポテンシャルを引き出す」ための実証/PoCから、「PLATEAUの価値を社会にもたらす」ための実装へとフェーズを進める必要があります。NEXT PLATEAUでは、PLATEAUの社会実装を実現する技術開発に注力します。

### 1. データ整備の高度化・効率化

3D都市モデルの効率的なデータ整備や高詳細度データの範囲拡大を推進するため、標準仕様拡張、BIM/不動産ID/空間ID連携手法の開発、自動生成技術の発展、高精度デジタルツイン技術の開発等を進める。

### 2. 先進的なユースケース開発

GIS、シミュレーション、衛星、XR、メタバース、モビリティ等の先進的な技術分野と連携し、新たな課題解決をもたらすユースケースのベストプラクティスを創出する。

### 3. 先端技術研究/国際展開

WebGIS、データベース、位置測位技術、AI技術等の先端技術を用い、3D都市モデルの活用領域の拡大やイノベーション創出を推進する。PLATEAUにより蓄積されたCityGMLや3Dデータ作成、ユースケース開発等のナレッジの国際展開を目指す。

FY2023

# NEXT PLATEAU

## 地域の社会実装を進める4つのポイント



Project PLATEAUは、スマートシティをはじめとした「まちづくりのデジタル・トランスフォーメーション」を進めるため、そのデジタル・インフラとなる3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化を推進するプロジェクトです。

FY2023では、引き続き、地方公共団体によるデータ整備やユースケース開発、オープンデータ化を支援していきます。

社会実装を進めるための4つのポイントをまとめました。これらの観点から、地方公共団体を中心としたPLATEAUの社会実装を支援していきます。



### ニーズ

地域がイニシアティブを持ち、取組が行政や地域の具体的な課題解決や新たな価値創出をもたらすか。



### サステナビリティ

官民の役割分担や連携など、ユースケースの実装やデータ鮮度の維持の観点から取組みが持続可能性を有しているか。



### フィジビリティ

アイデア・構想にとどまることなく、技術・サービス開発が社会実装に向けた実現性を有するか。



### オープン

データやナレッジが地域のコモンズやコモンプラクティスとして広く産学官民の各主体により活用できるか。



## 地域のオープン・イノベーション創出

FY2023のPLATEAUでは、地域課題の解決や新たなサービス創出など、地域のオープン・イノベーション創出を活性化させるための産学官民のエコシステム構築を本格化させます。

このため、地域のスタートアップやシビックテック団体、技術者コミュニティなど多様な主体のPLATEAUへのコミットメントを引き出す施策や、地方自治体や市民を巻き込んだ地域のデジタル・ケイパビリティ強化に注力していきます。

## コミュニティ形成の促進

アプリコンテスト、ハッカソン、ピッチイベント、ハンズオン、アクセラレーションプログラムなど、PLATEAUに参画する技術者、市民、企業等のコミュニティ形成を促進する。

## デジタル・ケイパビリティの強化

デジタル人材の育成プログラムの開発など、まちづくりにおける3D都市モデルをはじめとするデータ活用やデジタル・トランスフォーメーションを推進するための官民のデジタル・ケイパビリティを強化する。

## ムーブメント惹起

Project PLATEAUの情報発信やメディアコンテンツ造成など、多様な領域におけるPLATEAUのムーブメントを惹起する。



PLATEAU  
by MLIT

<https://www.mlit.go.jp/plateau/>



国土交通省